

帝釈自治振興区 しんこうセンターたより



第 211 号

(平成 31 年 3 月 20 日)

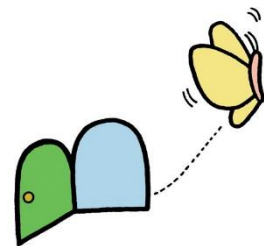
発行：帝釈自治振興区

電話：6-0055 (FAX 兼)

E-mail：taishaku@vesta.ocn.ne.jp

これからの主な行事予定・施設利用等

- 3月20日(水) 行政文書
21日(木) もみじグループ
22日(金) お寺カフェ(会場：広国院 午後1時30分～)
24日(日) 時悠館講演会 午後1時30分～
27日(水) 帝釈かじかクラブ
27日(水) 帝釈自治振興区役員会議 午後7時30分～
28日(木) おふくろの味料理教室 午前9時30分～
28日(木) ベっぴん会
4月 5日(金) 行政文書
7日(日) 広島県議会議員一般選挙
19日(金) 帝釈自治振興区総会 午後7時30分～
24日(水) 帝釈地区体協総会 午後7時30分～
26日(金) 特産品生産組合総会 午後7時30分～



その他の教室

グラウンドゴルフ教室(3/30 4/6 4/11 4/20)
(グラウンドの状態では変更になる場合があります。)

ご厚志のお礼

香典返しとして

帝釈自治振興区帝釈支部へ

加 谷 光 夫 様より

3月7日(木)、帝釈地域にお住いの、75歳以上の一人暮らし・二人暮らしの方に、「**帝釈ふれあい弁当**」を作って配達しました。

この事業は、高齢者の方の見守り事業として、年2回お弁当を手作りして配達しています。民生児童委員・一人暮らし巡回相談員・社会福祉協議会・帝釈自治振興区社会福祉部員と事務局で作りました。次回の配達まで、お元気で過ごしてくださいね。





地域マネージャーだより

3月9日(土)に帝釈自治振興区の先進地視察研修に同行しました。視察先は島根県雲南市の「新市いきいき会」です。帝釈自治振興区では、昨年7月の豪雨災害時に帝釈自治振興センターが避難所として開設され、実際に避難された方がいらっしゃいました。その際に、自力避難が困難な方をいかに安全に避難誘導するかが今後の課題となりました。そこで、その課題解決において、先進的な取り組みをしている新市いきいき会を視察させていただきました。

新市いきいき会では、災害時要支援者に対する支援体制をどのようにして作りあげていったのか、紹介します。

- 1 住民福祉カードを作成する。住民福祉カードは世帯別に氏名・生年月日・電話番号に加えて、可能な範囲で別居している家族の連絡先や施設入所状況を書いてもらう。
- 2 住民福祉カードで得た情報をもとに、要支援者の把握とともに、支援者となれる者の把握をする。その上で、支援体制を地域住民みんなで考え、「共助」の仕組みづくりを取り組む。
- 3 要支援者は「おねがい会員」として登録し、支援者は「まかせて会員」の登録をする。「まかせて会員」は支援者として立候補したものを登録する。「まかせて会員」は、日々の声掛け見守り活動や必要に応じて遠くに住んでいる家族への情報共有なども行う。
- 4 地域自主防災組織の避難訓練
「おねがい会員」「まかせて会員」を想定した避難訓練を実施する。「まかせて会員」複数名で担当の「おねがい会員」と一緒に一時避難所までの経路を歩き、非常食炊き出しや避難グッズの展示会、さらに安否確認訓練もする。

帝釈地域として、どのような取り組みができるかはこれからの課題です。

災害はいつ発生するかわかりません。心構えと備えをしておくことが大切です。また、避難するときには声をかけあって、ひとりでは避難できない要支援者の方を把握しておくこと、お互いが助け合うこと、常日頃から、お互いさまの気持ちを大切に過ごすことが大切だと思います。

